

Unified interpretation of *zai* (在) construction in Chinese Syntax and Semantic

Aoki moe

Abstract

This study proves the word *zai* (在) has two different roles, namely, adverb and preposition. When the object of *zai* is omitted, *zai* is used as an adverb. This paper also analyzed two prepositions and one adverb, *bei* (被), *gei* (给) and *zhengzai* (正在), which have omitted objects to testify the object of *zai* has been omitted.

Keywords: adverb *zai* (在) preposition *zai* (在) progressive aspect
omitted objects

副詞“在”と前置詞“在”の統一的解釈

青 木 萌

要旨 本稿では〔進行〕の意を示す“在”は、副詞として解釈される場合も、或は前置詞として解される場合もともに統一的な解釈ができることを提示した。即ち、副詞“在”は前置詞“在”に後続する目的語が省略されたと見なすのである。また、前置詞“被”、“给”，および副詞“正在”も目的語が省略された例として考察を行い“在”の目的語省略現象の傍証とした。

キーワード 副詞“在” 前置詞“在” 進行態 目的語の省略

0 はじめに

本稿では〔進行〕の意を示す“在”は、副詞、前置詞を問わず統一的に解釈できることを提示する。つまり、意味上、副詞の“在”は前置詞“在”と同様に出来事の存在場所を示す目的語を伴っていると考え¹⁾。従って、如何なる場合に“在”の目的語が省略され、逆に如何なる場合に“在”の目的語が生起するのかを論じることとなる。そこで考察の便宜を図り、〔進行〕の意を示す“在”が生起した文を以下の三つに分けることにしたい。

- ① 出来事地点が既知の情報と見なされて目的語が省略された

“在”構文

② 出来事地点が特定化できずに目的語が省略された“在”構文

③ 目的語が生起した“在”構文²⁾

次章では出来事地点が既知の情報であるが故，“在”の目的語が省略された文について検討する。(なお本稿における引用例の訳、下線はすべて筆者による。)

1 出来事地点が既知の情報と見なされて目的語が省略された“在”構文

まず例を一つ上げよう。

(1) 这样每一天都在乞讨，这就是我心中永远无法抹去的梦魇！（テレビドラマ《夏家三千金》第27話）

（このようにして毎日物乞いをしていたのよ、これがずっと抜けきれないトラウマよ！）

この“这样每一天都在乞讨”は“在”の目的語として意味上“街边”が含まれていると考える。それは(1)の文脈を広げて考察するとその原因が判然とする。(2)を見られたい。

(2) 那都是因为我的过去！亮亮，你是唯一一个知道我身世的人，我真的已经穷怕了，我的爸妈又穷又贫，被债主逼得双双死亡，我也被债主抓到，差一点就被卖了，最后，还是被逼得在街边乞讨，我就这样，每天抬着头，看着别人的鞋子，这样每一天都在乞讨，这就是我心中永远无法抹去的梦魇！（テレビドラマ《夏家三千金》第27話）

まず上から三行目の“还是被逼得在街边乞讨”（けっきょく借金取りに追い詰められて道端で物乞いをするはめになった）に注意されたい。ここでは“在”の後に“街边”が生起し“乞讨”が行われる場所を明確

に理解することができる。従って、この“在”は品詞でいうと前置詞である。そこで四行目の“这样每一天都在乞讨”を見ると、ここでは“在”の後方に目的語が生起していないので、“在”の品詞は副詞である。しかし上述の如く、三行目の“还是被逼得在街边乞讨”では“在”が前置詞として“街边”という場所を示す目的語を導いている。よって、四行目の“每一天都在乞讨”の出来事地点も“街边”であると推測することができる。つまり、三行目の“还是被逼得在街边乞讨”で既に“街边”が使われたので、四行目の“这样每一天都在乞讨”では“街边”が既知の情報として省略されたと考えるのである。

このような考察は他の研究者による見解とも整合性を有する。例えば沈家煊（1999: 99）は、

「我在做饭」の文における“在”は時間と空間といった両方の意を有している。」と解釈した。そしてその理由は、

「「料理をする」という行為は、一般的に特定の場所、即ち台所と関係し、台所は前提的に分かる情報であるためである。」

と述べた。この記述から“在”の目的語が既知の情報である場合、省略が可能であるということが分かる。

更に朱德熙（1982:176）では「一部の前置詞の目的語は省略することができる。」と述べて、三つの例を列举した。

- (3) 他给（ ）修好了（彼は修理してくれた）
- (4) 小偷儿被（ ）抓走了（泥棒は逮捕されていった）
- (5) 他们在（ ）说你呐（彼らはあなたのことを言っているのですよ）

また、朱德熙（1982:178）では前置詞“被”、“给”について以下のように述べ、同時に二つの例を挙げた。

「“被”と“给”の後方には時に目的語を伴わない。それは、動作主が

分らない場合、或いは、言う必要がないことがあるからである。」

(6) 他被逮捕了 (彼は逮捕されてしまった)

(7) 衣服全给淋湿了 (服はすっかり濡れてしまった)

なお, Chao (2011 (1968) :758) も前置詞 “在”、“被”、“给” の目的語は省略しえと見なしている。

以上により前置詞 “在”、“被”、“给” は時として目的語の省略が可能であることを確認することができた。そこで “被” と “给” の目的語省略現象についてももう少し論じることしたい。まず “被” から検討する。次の (8) の用例は (2) の中から重要な表現だけを取り上げた文である。

(8) 我的爸妈又穷又贫, 被债主逼得双双死亡, 我也被债主抓到, 差一点就被卖了, 最后, 还是被逼得在街边乞讨, …… (テレビドラマ《夏家三千金》第 27 話)

(私の両親はそろって貧しく、借金取りに追い詰められてともに他界したわ。私もその借金取りに捉まって、危うく売られるところだった。最後には、けっきょく追い詰められて道端で物乞いをするはめになったの、……)

この例では前置詞の “被” が立て続けに四度も使われている。即ち, “被债主逼得双双死亡”、“我也被债主抓到”、“差一点就被卖了”、“还是被逼得在街边乞讨” である。そこで注目されたいのは、一つ目と二つ目の “被” の後方には「動作主」である “债主” が目的語として生起しているが、三、四つ目の “被” の後ろには目的語が生起していない、ということである。その原因は、一、二つ目の表現によって、既に「動作主」が “债主” であることが明確となったので、三、四つ目では “被” の目的語である “债主” を省略したと解しえる。しかし、一、二つ目の “被” 構文と同様に、三、四つ目の “被” 構文においても、意味上は「動作主」である “债主” が存在していると思なすことができる。

そこで一つ疑問が浮かぶ。それは、なぜ一つ目と二つ目の“被”構文における「動作主」の“債主”は省略されず、三つ目と四つ目の“被”構文の「動作主」である“債主”は省略されたのか、ということである。その理由は、(8)の文脈を見ると、一つ目の“被”構文の「受け手」と二、三、四つ目の“被”構文の「受け手」が異なるからである。つまり、一つ目の文における「受け手」は“我的爸妈”であり、二つ目の「受け手」は“我”である。しかし、三、四つ目の“被”構文における「受け手」は二つ目に続きいずれも“我”である。故に、三、四つ目の“被”に後続しえる「動作主」の“債主”は既知の情報として省略されたのである。

もう一つ“被”の目的語が省略された文を挙げよう。

(9) A: 玲子, 你这要去哪儿啊? B: 大少爷被抓了。A: 他怎么了? B: 他在烟馆儿里被日本人抓了。(テレビドラマ《范府大院・全41話版》第30話)

(A:「玲子、どこに行くの?」)(B:「若旦那が捕まってしまいました。」)(A:「どうしたの?」)(B:「アヘン館で日本人に捕まってしまいました。」)

ここでは“大少爷被抓了”における“被”の後の目的語が省略されているが、“他在烟馆儿里被日本人抓了”における“被”の後には目的語が生起している。というのは、“玲子, 你这要去哪儿啊?”と質問された時点では、発話者の“玲子”は若旦那が捕まったことのみが重要で、誰によって捕まってしまったのかを明示する必要がないと判断したためであるといえる。“大少爷被抓了”は望ましい出来事ではないことを言いたかったからである。しかし“玲子”は更に相手に“他怎么了?”と質問されたため、仕方がなく“他在烟馆儿里被日本人抓了”と返答し、「若旦那が日本人によって捕まった」という出来事をより詳細に表現し

たと理解できる。

次に前置詞“給”の目的語が省略された例を見られたい。

- (10) 下月五号，你必须，必须给我怀上！你要是不给怀上，你就别来见我！（テレビドラマ《咱们结婚吧》第35話）

（来月の五日、あんたは必ず、必ず私のために妊娠するのよ！
もしそうじゃなかったら、もう会いに来るんじゃないよ！）

- (11) 我的伤口是她给看的。（テレビドラマ《夜幕下的哈尔滨》第5話）

（私の傷は彼女が見てくれたんです。）

(10) の“你要是不给怀上”における“给”の目的語は“我”であると考えることができる。なぜなら“你要是不给怀上”の前には“给”の後方に“我”という目的語を伴った“必须给我怀上”という文が生起しているからである。

そして(11)の“我的伤口是她给看的”では、“给”の目的語が省略されたと見なす。なぜなら、“给看”の前方には“我的伤口”が生起しているので、意味上“我”という目的語が“给”に後続すると推論しえるからである。

以上の考察により、前置詞“被”、“给”は時として目的語が生起せず副詞的な用法となるものの、意味上は前置詞の構造を保持し、目的語の意味内容が包摂されている、ということが理解できた。さて、これらの考察を頼りにし、再び“在”の考察を行うことにする。次の(12)は“家里”という成分によって“在等你”の出来事地点を見出すことができる例である。

- (12) 妈妈跟姥姥做了一桌子好吃的，我是自告奋勇来接你的。走！
家里就缺你这个小公主了，都在等你呢！（テレビドラマ《天真遇到现实・DVD版》第33話）

（ママとおばあちゃんは沢山のごちそうを作ったんだ、お父さんは危険を承知で迎えにきたんだよ。行こう！家にはお姫様だけが足りないんだ、みんな君を待っているよ！）

この“都在等你呢”には“在”の後ろに目的語が生起していない。しかしこの文の前方の“家里就缺你这个公主了”には“家里”が生起していることから、“等你”という出来事が“家里”において起こっていると解釈することができる。

次の(13)における“在”の目的語は“院中”が後続していると考えられる。

(13) 乘着钱先生闭上了眼，瑞宣轻轻的走出来。在院中，他看见钱少奶奶在洗衣服。（小説《四世同堂》310 頁）

（錢氏が目を閉じた隙に瑞宣はそっと部屋を抜け出すと、中庭で錢夫人が洗濯をしている姿が目にとまった。）

この文でも“在”と動詞との間には目的語が出現しておらず、故に、“钱少奶奶在洗衣服”という出来事が何処で行われているのかが判然としない。ところが、“钱少奶奶在洗衣服”の前方には場所を示す“在院中”が生起しているので、“钱少奶奶在洗衣服”における“在”の後方には意味上“院中”が省略されていると考えられる。

以上の二例からも副詞“在”の目的語の省略現象を理解することができた。念のため、似た例を幾つか追加しておきたい。

(14) 那是一个寂静的下午，内文学馆中只有婉儿一个女孩在看书。（小説《上官婉儿》30 頁）

（あれは静寂なる午後だった、内文学館ではただ婉儿だけが一人で読書をしていた。）

(15) 高登在修理场，他在装新的锅炉。（テレビドラマ《托马斯 & 朋友》第 21 話）

(機関車のゴードンは修理場にいた、彼は新しいボイラーを装着しているところだ。)

- (16) 阮先生是在里面，不过他还在昏迷，我们还在观察中。(テレビドラマ《佳期如梦・DVD版》第16話)

(阮さんは中にいます。ただ相変わらず昏睡しておりまして、私たちはまだ容態を窺っているところです。)

まず(14)の“婉儿一个女孩在看书”における“在”の目的語は“内文学馆”であると見なしえる。というのは“婉儿一个女孩在看书”の前に“内文学馆”という場所を表す成分が生起しているからである。

次に(15)の“他在装新的锅炉”における“在”の目的語は、前方の“修理场”であると理解できる。

そして(16)の“不过他还在昏迷”における“在”の目的語は、前の“阮先生是在里面”における“里面”であると解しえる。

以下の三例も上記と同じような解釈が可能である。

- (17) A: 太太呢? B: 在客厅和几位杭州来的茶商在说话。(テレビドラマ《京华烟云・2005年版》第26話)

(A:「うちの妻は?」)(B:「客間にいます、杭州からお越しした茶商の方々と話をしているところです。」)

- (18) 昨天在洗手间，说玩儿游戏，根本就不是玩游戏，明明就是在打电话，是不是跟西风打电话哪? (テレビドラマ《咱们结婚吧》第42話)

(昨日洗面所でゲームをしていると言ってたけど、全くもって嘘じゃない、間違いなく電話をしていたわ、西風と電話をしてたんでしょう?)

(17)の“和几位杭州来的茶商在说话”における“在”の目的語は前方に生起した“客厅”であると理解できる。

(18) では、最初に“昨天在洗手间”が生起しているので、後方の“明明就是在打电话”の“在”には意味上“洗手间”という目的語が後続すると判断できる。

以上の解析方法に倣うと、“正在”が生起する文についても同様に解釈しえることに気付く。例えば、

- (19) 还有一天，一个最放肆的年青的站了起来，二话不说就走进秀莲的卧室，秀莲还正在睡觉。(小説《鼓书艺人》55 頁)

(更にある日、一人の放蕩なる青年が起立し、一目散に秀蓮の寢室へと入っていった。秀蓮はまだ睡眠をとっているところだった。)

- (20) 乔莉答应了。她站起身，走到休息间，想拿杯酸奶，却看见云海正在吃面包，云海打招呼说：“嗨，安妮，早啊。”(小説《浮沉 2》11 頁)

(乔莉は承諾をし、立ち上がると、休憩室へと足を運ばせた。そしてヨーグルトを手にとろうとすると、云海がちょうどパンをほうばっているのを目にした。彼は「ハイ、安妮、おはよう」と挨拶をした。)

- (21) 喂，一帆，你妈妈生病了，现在在医院呢。没什么大事，就是有点发烧，正在打点滴呢。(テレビドラマ《蚁族的奋斗》第 15 話)

(もしもし、一帆、君のお母さんが体調を崩してね、いま病院にいるの。大したことはないわ、ただちょっと熱があるの、ちょうど点滴をしているところよ。)

(19) の“秀莲还正在睡觉”における“在”の目的語は“秀莲的卧室”であると考えることができる。なぜなら“秀莲还正在睡觉”の前に“秀莲的卧室”という場所を表す成分が生起しているからである。

次に(20)の“却看见云海正在吃面包”における“在”の目的語について考えてみると、ここでは前に“走到休息间”があるので、“云海正在吃面包”の出来事地点は“休息间”であると見なすことが可能である。

そして(21)の“正在打点滴”における“在”の目的語は、この文の前方にある“现在在医院呢”の“医院”であると理解できる。

あと二つ似た例を挙げておこう。

- (22) 今天经过珠宝店的时候，看到你正在卖这条项链，我就知道你一定是在为皓天凑医药费呢。(テレビドラマ《夏家三千金》第24話)

(今日、宝石店を通りかかったときに、あなたが丁度あのネックレスを売っているのを見たの。知っているわ、皓天のために医療費を集めているんでしょう。)

- (23) A: 这屋子里在干什么呢? B: 范伯伯，我爸正在打光汉呢。(テレビドラマ《范府大院・全41話版》第25話)

(A:「部屋で何をやっているんだ?」)(B:「范さん、僕の父が光汉をお仕置きしているのです。」)

(22)の“你正在卖这条项链”では“在”の目的語が生起していないが、前に“今天经过珠宝店的时候”という命題表現があるので、“在”の目的語は“珠宝店”であるという判断を下しえる。

(23)の文では、最初に“这屋子里在干什么呢”という文があるので、この文の回答である“范伯伯，我爸正在打光汉呢”の“我爸打光汉”という出来事は“屋子”において行われていると推測することができる。

次章では、出来事地点が複数に及ぶことにより、出来事の発生地点を特定化することができず、目的語が省略された“在”構文について検討したい。

2 出来事地点が特定化できずに目的語が省略された“在”構文

まず以下の例について詳述する。

(24) A: 红玉, 我记得我出国留学前, 你就在看红楼梦, 现在还在看呀? B: 我百看不厌, 我最喜欢林黛玉了。(テレビドラマ《京华烟云・2005年版》第17話)

(A: 「紅玉、僕が海外留学する前から、君は紅樓夢を読んでいたと思うんだけど、今もまだ読んでいるのかい?」) (B: 「何度読んでも飽きないわ。一番好きなのは林黛玉なの。」)

ここでの考察対象は“现在还在看呀”における“在”である。なお“在”に焦点を当てた論考にするため、便宜を図って“现在还在看呀”を“红玉在看红楼梦”という命題表現に変換して考察を進めることにする。この“红玉在看红楼梦”は複数の地点で何度も行われ、出来事地点を一つに限定させる必要がなくなったが故、“在”の後の目的語が省略されたと考えられる。その根拠は以下の四つである。

第一に、ドラマ《京华烟云・2005年版》を見ると、(24)の場面において、“红玉”は実際に“红楼梦”を手にとって読むという行為を行っていないからある。

第二としては、“我记得我出国留学前, 你就在看红楼梦”や“现在还在看呀”における時間副詞の“还”, 更には“我百看不厌”などの表現から、“红玉在看红楼梦”が繰り返し行われていることが分かるためである。

そして三つ目の根拠は、ドラマ《京华烟云・2005年版》には、(24)のシーン以外においても“红玉在看红楼梦”の多発性を看取できる文が発話されるからである。以下それらの例をあげよう。まず(25)を見ら

りたい。

(25) A: 红玉身子这么淡薄，是不是病了？B: 每年的春秋两季呢，她都会病上几回，去年春天啊，她在床上躺了一个多月，可她都不肯休息，整夜整夜地看红楼梦。(テレビドラマ《京华烟云・2005 年版》第 16 話)

(A: 「紅玉はあんなにも身体が細いのは病気なのかな？」) (B: 「毎年の春秋に数回症状が出てね、去年の春は床で一カ月余りも横たわっていたの。でも、決して休もうとはせずに、毎晩のように紅樓夢を読んでいたわ。」)

(25) における“整夜整夜地看红楼梦”は、「毎晩のように紅樓夢を読む」という意である。故に，“紅玉”が飽きることなく何度も“紅樓夢”を見ていたと理解することができる。続けて (26) の例も見られたい。この場面からも“紅玉”が如何に“紅樓夢”を愛読しているのかが窺える。

(26) A: 红玉，这红楼梦你看过多少遍了？B: 不多，也就二十几遍吧。可我每一次看完，都有不同的感受。(テレビドラマ《京华烟云・2005 年版》第 16 話)

(A: 「紅玉、この紅樓夢の本、どのくらい見たの？」) (B: 「多くはないわ、せいぜい二十回くらいかしら。でも毎回読み終えるたびに違った感銘を受けるの。」)

(26) では発話者 B が“紅玉”であり，“不多，也就二十几遍吧。可我每一次看完，都有不同的感受”と答えていることから、彼女の“紅樓夢”に対する熱狂ぶりが察しえる。また、発話者 A が“这红楼梦你看过多少遍了？”といった質問をしていることから、“紅玉”が“紅樓夢”を飽きることなく何度も読み続けていることを推測しえる。

従って (25)、(26) の二例からも“紅玉在看红楼梦”という出来事が

幾度となく発生していることが明晰となった。

さて、“紅玉在看红楼梦”があらゆる場所において何度も行われていることを示す第四の根拠は、ドラマ《京华烟云・2005年版》の第30話から看取しえる。この場面においても“紅玉”は“红楼梦”を読み、かつそれを大邸宅の庭園において、泰然と歩きながら行っているのである。従って、“紅玉在看红楼梦”の出来事地点が一つの場所に限定されていない、ということを改めて理解することができる。

以上の四つの理由により、“紅玉在看红楼梦”が様々な所で発生していることが判然とした。故に“现在还在看呀”における“在”の目的語は出来事の発生地点を指定することができず省略されたと見なしうる。

留意されたいことは、ある対象の特定化が行えず目的語が生起しない現象は他の構文においても存在する、ということである。そこで“被”構文が生起した文を二例見られたい。

(27) A: 静宜, 好点儿了吗? B: 好多了, 谢谢你。A: 到底怎么回事儿啊? B: 我被关到电梯里了。(テレビドラマ《女人的颜色・TV版》第67話)

(A:「静宜、少しは良くなった?」)(B:「だいぶ良くなったわ、ありがとう。」)(A:「一体どうしたの?」)(B:「誰かのせいでエレベーターに閉じ込められたの。」)

“我被关到电梯里了”における“被”の後には目的語が生起していない。それは何故だろうか。というのは、発話者Bである“静宜”は誰によって“关在电梯里”ということを被ったのかが分からなかったからである。これは(27)の例の引用先であるドラマ《女人的颜色・TV版》を見ると判然とする。この場面は、発話者Bの“静宜”が閉塞症であることを知る友人が、愛人を奪われた恨みを果たすため、ひそかに発話者Bの“静宜”を特別な操作によってエレベーターの中に閉じ込めてしまう。

だが幸いにも“静宜”は病院に運ばれ一命を取りとめるのである。従って、“被”の後方に生起するはずの目的語が特定化できず、省略されたと理解できる。

(28) 她一定在学声乐的，她的才能是不会被埋没的。(テレビドラマ《花非花雾非雾・TV版》第22話)

(彼女はきっと声楽を学んでいるはずよ、彼女の才能は埋もれるはずがないわ。)

ドラマ《花非花雾非雾》によると、この文は“她”を長年探し続けている妹が発話したものである。しかし姉の消息はほとんど得られずにいた。故に、姉の才能を潰した人物をわざわざ表現することは不可能であり、かつ必要性のないことなので、“被”の後方の目的語は省略されたと解しうる。

さて、再び出来事地点が複数に及ぶため“在”の目的語が省略された例を挙げることにする。それは以下の三例である。

(29) 现在他们到处在抓我。(テレビドラマ《范府大院・全41話版》第22話)

(いま彼らはあちこちで俺を捕まえようとしている。)

(30) 这是世界上现在最风靡的一个舞蹈，全世界人都在跳。(テレビドラマ《咱们结婚吧》第20話)

(これはいま世界で一番旋風を巻き起こしているダンスなんだ、世界中の人がみな踊っているんだ。)

(31) 他倾耳细听，街上没有一点声音。那最常听到的电车铃声，与小贩的呼声，今天都一律停止。北平是在悲泣！(小説《四世同堂》45頁)

(彼が耳を澄ませると、街道は静寂しきっている。あのいちばん耳馴染みなトロリーバスの鈴の音、物売りの掛け声は、いま

全てピッタリと止んでいる。北平は慟哭しているのだ！)

(29) では“他们”と“到处”が生起しているが故，“抓我”があらゆる場所において行われていることが想像できる。よって，“他们在抓我”の出来事地点を特定化できず，“在”の後方の目的語が省略されたと推測することができる。

(30) では“全世界人都”によって“跳”という出来事が複数存在していることが保証されるので、特別“跳”の発生地点を定める必要がなくなり，“在”の目的語が省略されたと判断しえる。

そして(31)においては，“北平”に含まれる複数の場所概念によって、目的語が“在”に後続していないと考えられる。そこで“那最常听到的电车铃声，与小贩的呼声，”に留意されたい。この二つの文は北平の本来のあるべき平和な情景を描写している。しかし、その後の“今天都一律停止”により、この時、その普段のあるべき北平の活気が全て失われていることが分かる。即ち，“北平”に存在するさまざまなものから感じ取れる活気のなさが“北平是在悲泣”を意味しているのである。そのため，“悲泣”の出来事地点をわざわざ一つずつ表現する必要はないと見なし“在”の目的語が省略されたと理解できる。

以上から，“在”に後続して出来事の場所を示す成分は、出来事の発生地点が複数に及ぶと、出来事の発生地点の特定化が困難となるが故、省略されることが分かった。だが、以下の用例を見たときに疑問が生じられると思われる。

(32) 我在打车！（テレビドラマ《张小五的春天》第2話）

（私はタクシーを拾っているのよ！）

(33) 喂，莫愁啊，我是姐姐，我看到了那个报纸了，我想跟你说两句，喂，喂，在听吗？（テレビドラマ《京华烟云・2005年版》第32話）

(もしもし、莫愁、お姉ちゃんよ、あの新聞を見たわ、ちょっと話があるんだけど、もしもし、聞いているかしら?)

- (34) A: 在等我? B: 嗯, 刚才吃夜宵的时候, 看到你们科订的饭盒上有你的名字, 所以就稍微多等了一小会儿。(テレビドラマ《再婚进行时》第14話)

(A: 「あなた私を待っているの?」) (B: 「うん、さっき夜食をとるときにあなた達が注文した弁当ケースにあなたの名前があったのを見たの、だから、ちょっとだけ長めに待っていたのよ。」)

(32)、(33)、(34) はいずれも複数の概念を示す成分が存在せず、かつ“在”の後方に目的語が生起していない。しかも前後の文脈から出来事の発生地点を推測することもできない。しかし、(32)の例は、引用先であるテレビドラマ《张小五的春天》によると、この場面は発話者が一人でタクシーを拾っている所である。故に“我在打车”の出来事地点は、発話者が存在している一つの場所に限定されるので、既知の情報として“在”の目的語を省略することができたと解釈できる。

また(33)は《京华烟云・2005年版》を見ると、発話者はすでに相手がどこで電話をしているのかを理解している、ということが看取できるので、特定の一か所で“听”をしていることを理解することができる。故に“在”の後方の目的語を省略することができたと解しえる。

そして(34)の“在等我?”では、一見“等”がどこで生じているのかが不明だが、《再婚进行时》を見ると、発話時点の一か所で行われていることが分かるので、既知の情報として“在”の目的語が省略されたと理解できる。故に“在等我”は「あなたが、ここにおいて、私を待っている」という意を包摂していると解しうる。

次章では目的語が生起した“在”構文について論じることにした。

3 目的語が生起した“在”構文

ここでは如何なる場合に“在”の目的語が生起するのかを考えてみたい。以下四つの例を挙げよう。まず(35)の例を見られたい。

(35) 快点儿收拾啊，我在楼下等你。(テレビドラマ《等待绽放》第30話)

(早く片付けてね、下で待っているわ。)

ここでは“在”の後に“楼下”という場所を示す連語が生起している。なぜなら、引用先のドラマ《等待绽放》から看取できるように、発話者は、いま居る場所とは異なった所で“等你”をすることを相手に伝えようとしたからである。逆に出来事の実在場所を発話地点に固定させたい場合には次のような表現をする必要がある。

(36) “你等一下，我去跟冯超讲一下。”她转身向大厅里跑，跑了两步，又回过头叮嘱他，“你在这等我啊，不要跑了，我去跟他讲一下就回来。”她看见他点头了，才放心地向大厅跑去。(小説《致命的温柔》95頁)

(「ちょっと待っていて、冯超に声をかけに行ってくるから。」彼女は身を翻して大広間へと駆けた。ところが、数歩足を進めると、再度振り返って彼に言い聞かせた。「ここで待っていてね。いなくならないでよ、彼に声をかけたらすぐ戻って来るから。」そして彼が頷く姿を確認し、ようやく安心した様子で大広間へと駆けて行った。)

二行目の“你在这等我啊”における“在”の後ろには近方を指示する“这”が目的語として生起している。というのは、この場面は“回过头叮嘱他”、“不要跑了，我去跟他讲一下就回来”、“她看见他点头了，才放

心地向大厅跑去”という命題表現から看取できるように、“你在这等我啊”と発話した人物は、相手に対して発話地点に留まって自分のことを待っていて欲しい、と強く望む心境が窺えるからである。

また“这儿”とは反対に、発話者から遠くにおいて生じている出来事の〔進行〕を指示する場合には遠方を指示する“那儿”を用いて、

(37) 就是因为不贵啊，我们才买了这些东西回来。很多人都在那儿排队啊，我们也排了很久，所以啊，更要多买点儿回来啊。(テレビドラマ《来不及说我爱你》第19話)

といった文を作ることができる。“很多人都在那儿排队啊”(たくさんの人があそこで並んでいます)は“在”の後方に“那儿”が生起しているので、“排队”が発話者から遠方において行われていると推測することができる。実際に、ドラマ《来不及说我爱你》を確認するとその距離をはっきりと感じることができる。そこで興味深いことは、たとえ発話者の傍で出来事が〔進行〕していても、発話者が疎遠に感じる場合は“这儿”を使わず“那儿”を使って、

(38) 丁香，你知道吗，世界上最遥远的距离，不是你在天涯我在海角，而是我站在你旁边，你却在那儿玩儿手机。(テレビドラマ《北京青年》第8話)

(丁香、知っているかい、世界で最も遠い距離って、君が天にいて僕が海にいるようなものじゃないんだ。それは僕が君の横で立っているのに君が携帯をいじっていることなんだ。)

とすることができることである。ここでの“那儿”は発話者と出来事の間における空間的な距離を指示しているわけではない、と考えられる。それは、ドラマ《北京青年》における展開と“世界上最遥远的距离，不是你在天涯我在海角，而是我站在你旁边，你却在那儿玩儿手机”という命題表現に秘密が隠されている。つまり、発話者は聞き手である“丁

香”に対して酷く好意を抱いていたが、一向に受け入れられずにいた。そのため、(38)の“而是我站在你旁边，你却在那儿玩儿手机”の表現からも分かるように、この時、発話者と“丁香”の身体的距離が近いにも関わらず、その二人の心的距離は依然として天地の差があったと感じたのである。換言すると、発話者は、“丁香”は発話者とはかけ離れた所において“玩儿手机”という行為を行っているという感覚に見廻れたのである。故に、発話者は、“你玩儿手机”が発話者の真横で行われているにもかかわらず“那儿”を用いたと解しえる。

4 結びにかえて

本稿は「進行」の意味を表す“在”構文を①出来事地点が既知の情報と見なされて目的語が省略された“在”構文、②出来事地点が特定化できずに目的語が省略された“在”構文、③目的語が生起した“在”構文の三つに分けて論じ、副詞の“在”は意味上、前置詞の機能を兼ね備えていることを証明した。つまり、副詞“在”は場所の意を表す成分が後続しないが、それは前置詞“在”に後続する目的語が省略されたと見なすのである。また、前置詞“被”、“给”，および副詞“正在”も目的語が省略された例として考察を行い“在”の目的語省略現象の傍証とした。

注

- 1) 副詞“在”の意を「進行」と解した理由は、以下の研究者による見解を総括して判断した結果である。紙幅の関係のため、下記の如く簡潔に図示する。

表一

研究者	“在”が表す意味
1. 潘文娛 (1980 : 44-45)	動作の <u>進行</u> で現れる状態を表わす。

2. 北京大学中文系 1955、1957 级语言班编 (1982 : 620)	動作行為が正に <u>進行</u> の状態。
3. 杉村博文 (1994 : 104)	時間の流れを感じさせる行為や状況の継続・ <u>進行</u> 。
4. 龚千炎 (1995 : 93)	動作の <u>進行</u> , 或いは状態が続いていることを表わす。
5. 王还主编 (1997 : 1103)	動作が絶えず <u>進行</u> していることを表わす。
6. 郭风岚 (1998 : 38)	動作行為の <u>進行</u> , 或いは動作行為や状態の持続の時間量を表す。
7. 侯学超编 (1998 : 725)	“正在” (動作の <u>進行</u> 、状態が続いていることを表す (侯学超编 1998 : 745)) と同様の意味を表わす。
8. 吕叔湘主编 (1999 : 645)	“正在” (動作が <u>進行中</u> 、或いは状態が続いていることを表す (吕叔湘主编 1999 : 672)) の意である。
9. 朱继征 (2000 : 59)	動詞の外部状況を示す <u>進行</u> 相形式。
10. 李科第 (2001 : 633)	動作行為がちょうど <u>進行</u> の状態にあるということを表わしている。
11. 刘月华等 (2001 : 232)	動作の <u>進行</u> 。
12. 张斌主编 (2001 : 683)	動作, 或いは行為や性質の状態が <u>進行</u> , または続いていることを表わす。
13. 马真 (2004 : 160)	<u>進行</u> を表す。
14. 李晓琪 (2005 : 15)	ちょうど <u>進行</u> しているということを表わす。
15. 朱景松主编 (2007 : 531)	“正在” (動作が <u>進行</u> 、或いは状態が続いていることを表す (朱景松主编 2007 : 551)) の意である。
16. 房玉清 (2008 : 393)	動作が <u>進行中</u> 、或いは、状態が続いていることを表わす。
17. 卢福波 (2010 : 142)	現在, 或いはある時点、ある時間幅における動作の <u>進行性</u> 。
18. 袁莉容 郭淑伟 王静 (2010 : 169)	<u>進行</u> の意味を表す。動作が続いていることを強調し、時間幅を有する表現。
19. 岑玉珍主编 (2013 : 373)	動作の <u>進行</u> 、状態が続いていることを表す。

- 2) 前置詞の“在”が生起した文も「進行」の意を示しえると判断した理由は以下の研究者による見解を基にした。

まず、丁声树等（2009（1961）: 111）は“我在床上看书”（私はベッドで読書をしている）という文は「人がベッドに存在し、読書をするもベッドに存在する」と述べている。故に“我在床上看书”には二つの意を含んでいると理解できる。次に李华卓（2010: 92-93）は“我在教室读书”（私は教室で勉強をしている）に対して以下のような見解を有している。「“我在教室”と“我在读书”は合併して“我在教室读书”となれる。“我在教室”と“我在读书”の“在”は同じ様な意味を有するので、合併後の文ではただ一つの“在”を用いばよい。」また、李华卓（2010: 95）では“我在教室读书”（私は教室で勉強をしている）という文は「ちょうど[進行]しているという時態を表わすが、同時に存在の意味も有している。」と指摘した。

更に范继淹（1982: 75）と张斌主编（2001: 684）では、“在”は副詞と前置詞の二役を担っていることを主張している。そこで张斌主编（2001: 684）における記述を代表として挙げると、「“他在（副詞）在（前置詞）黑板上写字”（彼は黑板に字を書いている）という時、二つの“在”は合わさって一つになり“他在黑板上写字”という。」と述べている。

また、张斌主编（2001: 684）は副詞“在”の用例として“吉普车在公路上颠簸着，急驶着”（ジープ車は道路において揺れながら疾走している）という文を、そして马真（2004: 160）は“以后，我在跟人家说话时，你最好别插嘴。”（今後私が人と話をしているときは、無駄口を挟まないでください。）という文を挙げている。通常これらの“在”はともに前置詞として見なされるが、この二つの文における動詞はいずれも[持続]の意味特徴を保持しており、文全体は確かに[進行]の意を表していると見なしえる。よって、前置詞の“在”が生じした文も[進行]の意味を示すことができると理解できる。

参考文献

- 青木萌 2013. 「現代中国語の統語成分“在”の用法と意味」, 『神奈川大学言語研究 2012』. 神奈川大学言語研究センター。
- 朱继征 2000. 『中国語の動相』. 東京: 白帝社。
- 杉村博文 1994. 『中国語文法教室』. 東京: 大修館書店。
- 北京大学中文系 1955、1957 级语言班编 1982. 『现代汉语虚词例释』. 北京: 商务印书馆。
- 岑玉珍主编 2013. 『汉语副词词典』. 北京: 北京大学出版社。
- 丁声树等 2009（1961）. 『现代汉语语法讲话』. 北京: 商务印书馆。
- 范继淹 1982. 「论介词短语“在+处所”」, 『语言研究』 1982 年第 1 期。
- 房玉清 2008. 『实用汉语语法（第二次修订本）』. 北京: 北京语言大学出版社。

- 龚千炎 1995.《汉语的时相时制时态》。北京:商务印书馆。
- 郭风岚 1998.「论副词“在”与“正”的语义特征」,《语言教学与研究》1998年第2期。
- 侯学超编 1998.《现代汉语虚词词典》。北京:北京大学出版社。
- 李华倬 2010.《基于中国哲学思想的汉语研究》。镇江:江苏大学出版社。
- 李科第 2001.《汉语虚词辞典》。昆明:云南人民出版社。
- 李晓琪 2005.《现代汉语虚词讲义》。北京:北京大学出版社。
- 刘月华等 2001.《实用现代汉语语法(增订本)》。北京:商务印书馆。
- 卢福波 2010.《汉语语法教学理论与方法》。北京:北京大学出版社。
- 吕叔湘主编 1999.《现代汉语八百词(增订本)》。北京:商务印书馆。
- 马真 2004.《现代汉语虚词研究方法论》。北京:商务印书馆。
- 潘文娉 1980.「谈谈“正”“在”和“正在”」,《语言教学与研究》1980年第1期。
- 沈家煊 1999.「“在”字句和“给”字句」,《中国语文》1999年第2期。
- 王还主编 1997.《汉英双解词典》。北京:北京语言大学出版社。
- 袁莉容 郭淑伟 王静 2010.《现代汉语句子的时间语义范畴研究》。成都:四川大学出版社。
- 张斌主编 2001.《现代汉语虚词词典》。北京:商务印书馆。
- 朱德熙 1982.《语法讲义》。北京:商务印书馆。
- 朱景松主编 2007.《现代汉语虚词词典》。北京:语文出版社。
- Chao, Yuanren. 2011 (1968). *A Grammar of Spoken Chinese*. 北京:商务印书馆。

用例参照文献

- 艾米 2009.《致命的温柔》。北京:群言出版社。
- 崔曼莉 2009.《浮沉 2》。西安:陕西师范大学出版社。
- 老舍 1998.《四世同堂》。北京:人民文学出版社。
- 2009.《鼓书艺人》。上海:文汇出版社。
- 赵玫 2010.《上官婉儿》。天津:天津人民出版社。